

令和7年度 浜松医科大学

看護学科：学校推薦型選抜  
海外教育プログラム特別入試・社会人入試

小論文問題冊子 (学校推薦型選抜)  
小論文Ⅰ問題冊子 (海外教育プログラム特別入試・社会人入試)

令和7年2月1日(土)実施

注意事項

1. 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけない。
2. 問題に不鮮明な箇所等の印刷上のミスがあった場合には、試験監督者に申し出ること。
3. 解答用紙及び下書き用紙には、必ず受験番号を記入すること。
4. 下書き用紙は持ち帰らないこと。
5. 問題冊子は持ち帰ること。

次の文章を読み、以下の間に答えなさい。

「この子に何もしてあげられない、ただ見てるだけ」と両手に納まるほどの小さな子どもを見つめ母親はつぶやいた。母親が分娩後初めて目にした我が子は、呼吸器や点滴につながれ保育器の中にいた。子どもに触れることもできない母親は、保育器の中にいる我が子をただ見つめているだけだった。周りの母親は子どもを抱きしめ「かわいい。かわいい」とはしゃいでいる。母親なのに何もしてあげることができないと、悲痛な訴えだった。思い描いていたバースプランとはかけ離れた現実、母親は愕然としていた。

母親としての喜びを実感してもらうために私は何ができるのか？ 母と子のつながりを実感してもらうために出した答えは、「綿棒に湿らせた母乳をあげてみませんか？」だった。主治医からの許可がありその旨を母親に告げると、びっくりした顔で私の顔を見た。母親が子どもにしてあげる初めての育児だった。「母乳をあげることができるんですね」。母親の顔が輝いて見えた。

初めて母乳をあげる日、母親は恐る恐る綿棒を子どもの口に近付けた。「あっ！ 吸ってる吸ってる。美味しい？」と子どもに声を掛ける母親がいた。いつも悲しそうに保育器の中を見つめていた母親は、我が子が母乳を吸った瞬間に一気に顔がほころび嬉しさをにじませた。

数日後、子どもは、母親の胸に抱かれこの世を去って逝った。

日本看護協会 第10回「忘れられない看護エピソード」看護職部門入選作品より

問 綿棒に湿らせた母乳をあげる行為は、この母親にとってどういう意味があると思いますか。また自分がこの看護師だったとしたら、この母親にどのようなことをしようと思いますか。800字以内で述べなさい。